

小諸市「おもてなし ICT サービス実証事業」

■事業内容



本事業は総務省「IoT おもてなし環境の社会実装に向けた情報仲介機能の在り方に係る調査研究」として実施いたします。外国人観光客の集客と消費需要を拡大するために、ICT(スマートフォン、IC カード、デジタルサイネージ、多言語翻訳機器など)を活用して、小諸市のインバウンド、観光事業の地域活性化を図ることを狙いとしています。また、個人の属性に応じたサービス提供の実現あたっては、パーソナルデータ利活用ができる環境整備が必要であり、「情報仲介機能」の在り方の調査を目的としています。

■実施体制

【主催】(一社)おもてなし ICT 協議会(理事長:西 宏章 慶応義塾大学 教授)

【支援】小諸市、(一社)こもろ観光局、小諸商工会議所、有限責任事業組合さくりす IT サポート、合同会社江口靖二事務所、軽井沢トラベル&コンサルティング、株式会社アイク

【協力】ソフトバンク(株)、大日本印刷(株)、フェリカポケットマーケティング(株)、株式会社デジタルワレット、有限会社 Presentz、株式会社モリサワ

■実証期間

平成 29 年 11 月 3 日から平成 29 年 12 月 31 日

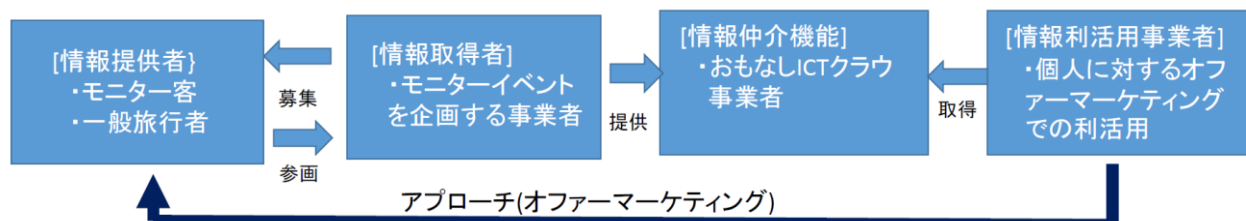
■事業概要

小諸市は、日本で唯一といわれる穴城(あなじろ)「小諸城」(現在は、懷古園として整備)や浅間山を代表的観光地として有しているとともに、小諸名物のそば打ちなどの体験型プログラムに力を入れています。近年、海外旅行の経験者が増えるに従い旅行目的も多様化し、不特定多数を対象としたパッケージツアーなどではなく、自分の目的に合わせた旅行をしたいという要望が高まっています。小諸市の観光政策はパーソナルデータ利活用のおもてなし ICT 実証に適しており、訪日外国人や在日外国人、日本人観光客に ICT サービスの体験をいただき、情報仲介機能に係わるアンケート調査を行います。

[1] 情報仲介機能実証の概要

政府では、高度情報通信ネットワーク社会推進戦略本部(IT 総合戦略本部)」の下で開催された「データ流通環境整備検討会」等において、PDS(Personal Data Store)や情報銀行等について議論が行われ、観光分野を含め官民連携した社会実装に向けた積極的な取組の推進及び法制度整備の必要性について取りまとめが行われています。本調査研究においては、以下の関係者により構成される具体的なユースケース実証を通じて、情報仲介機能に求められる要件や第三者提供に係る同意取得時のルールの有在り方についての検討にも貢献します。

- 実証モニターとしてパーソナルデータの提供者。
- これらのパーソナルデータを組織的に集め提供する事業者(情報取得者)。
- 情報仲介機能を担う事業クラウド事業者。
- 情報仲介機能を担う事業者から情報を取得して利活用する事業者。



[2]おもてなし ICT 実証の概要

(1) スマートフォンの観光情報アプリ「Japan2Go!~OMOTENASHI ICT Navi ~」

47 都道府県の観光名所と観光名所までのルート案内、お勧めコースの紹介、乗換案内、クーポン、グルメ、宿泊、お土産情報などの魅力的なコンテンツが満載の観光アプリケーションです。日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語の 6 言語に対応しています。さらに、ソフトバンク「FREE Wi-Fi PASSPORT」のアクセスポイントに接続できる機能を搭載して、訪日外国人旅行者は無料で利用できます。小諸市の実証では、一般社団法人こもろ観光局より提供される観光情報に基づき提供します。



(2) おもてなしステーションによるパーソナルデータ取り込みと IC カードへの登録(紐付け)

観光情報インタクティブサイネージ、4Kプロジェクターに接続しているリーダーライターに IC カードをかざすことにより、言語切替や必要情報を連携するために、パスポート情報などを取り込み IC カード内のチップ上(FeliCa ポケット)とクラウドに格納する端末機。日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語の 6 言語に対応しています。

設置場所は、小諸市観光案内所。



(3) 4K 観光コンテンツ配信サイネージ

観光情報を 4K モニターを使用し 4K 動画コンテンツをエキサイティングに、より臨場感のある観光情報を伝えることができる。

(6)の高精細 4K モニターの観光素材と連動して提供します。

設置場所は長野県軽井沢駅。



(4) 観光情報インタラクティブサイネージ

日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語の 6 言語に対応して、周辺の観光スポットをカテゴリと距離を指定して絞り込んで案内し、現在地からのルートを実況コードでスマートフォンに取り込めます。また、観光スポットにクーポン情報を紐付け登録することにより、商店や観光施設に送客ができます。施設情報などはデジタルパンフレットで提供します。デジタルパンフレットは 2 次元コードでスマートフォンに取り込めます。小諸市では Japan2Go!より観光情報を連携して提供します。おもてなしステーションでパーソナルデータを登録した IC カードをリーダーライターに翳すと言語切替をします。

設置場所は小諸市観光案内所、懐古園。



(5) 多言語翻訳端末

飲食店などのメニューを日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語の 6 言語に対応して表示と音声読み上げをする端末。

IC カード登録端末でパスポート情報など登録した IC カードをリーダーライターにかざすことにより、言語切替を行います。

メニューには、使用食材のアレルギー表示や塩分相当量などの情報も併記することができ、はじめて来店する外国のお客さまも安心して注文ができます。また、接客用端末として利用できます。

小諸市では施設ガイドが多言語飲食メニュー等のご案内で利用。



(例) タブレットに表示されたお蕎麦屋さんの日本語メニューを多言語変換して解説

(6) 高精細4Kモニター

高精細4Kモニターは、小諸の四季折々の自然、その中にある小諸城址(懐古園)や宿場町、歴史的な建造物、温泉、そして伝統的な食文化などの観光情報を日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語の 6 言語に対応して、動画で放映します。おもてなしステーションでパーソナルデータを登録した IC カードをリーダーライターに翳すと言語切替をして 4 コンテンツが選択できるようにします。

設置場所は、小諸駅。

